

# J・クレジット制度って何？

日南町のJ・クレジット販売契約が大幅に伸びています。年々、認知度があがっていることが追い風となり、本年度は、販売件数、販売量ともに過去最高の数値を更新しています。全国的に見ても数少ない成功例として注目を集める町の取り組みを紹介します。

## 【J・クレジットとは？】

J・クレジット制度とは、森林経営の取組みや省エネルギー機器の導入による二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの吸収量や排出削減量を「クレジット(信用販売)」として国が認証する制度です。

町では、平成25年3月、FSC森林認証(森林の環境保全・生態系に配慮し、経済的にも持続可能な、適切に管理された森林を国際的に認証する制度)を受けている町有林において、間伐地を対象とするJ・クレジット(当時、J・Ver)を6,604t・CO<sub>2</sub>取得、同年9月、日南町森林組合も同様に9,826t・CO<sub>2</sub>のJ・クレジットを取得されました。本年度(平成31年1月末現在)の町のJ・クレジットの販売量は、615t・CO<sub>2</sub>、販売額は5,314千円、販売を開始してからの累計は、販売量1,278t・CO<sub>2</sub>、販売額11,178千円となり、町では、生態系の保全、新植の補助、企業のCSR活動支援といった林業振興に活用しています。

J・クレジット制度は、町は購入いただくことで、森林に関する事業に必要な予算が確保でき、購入された企業等は、環境保全に貢献している企業としてイメージのアップに繋がり、双方にメリットのある制度といえます。

## 【二酸化炭素排出ゼロの道の駅】

平成28年4月にオープンした道の駅「にちなん日野川の郷」では、販売する商品に1品1円の森林支援協力金を付し、町所有のJ・クレジットを購入、また、施設が排出するCO<sub>2</sub>については、町所有のJ・クレジットで相殺し、全国初の二酸化炭素排出量ゼロの道の駅として運営しています。環境保全の重要性が叫ばれるなか、道の駅を利用する誰もが気軽に参加できる環境貢献の仕組みとして着目されています。

年度	町のJ・クレジットの主なあゆみ
平成24	・日南町有林のJ・クレジットを取得(認証量6,604t)
平成25	・町森林組合がJ・クレジットを取得(認証量9,826t) ・山陰合同銀行、鳥取銀行と地域コーディネーター契約 ・(有)江府技研コンサルタント、(株)赤松産業と初の売買契約
平成26	・(株)グリーン・シャインと売買契約(初の町内企業との契約)
平成28	・道の駅「にちなん日野川の郷」がオープン。 「寄付型オフセット」によるCO <sub>2</sub> 排出ゼロの道の駅
平成29	・(株)ケイズとの契約で累計販売量が500tを突破
平成30	・(株)プラスエム設計との契約で累計販売量が1,000tを達成 ・(株)内田スプリング製作所と過去最大量(125t)の売買契約 ・(株)ヒノコンサルタント、ダイハツマリーナ(有)大栄自動車との契約で単年での契約量500tを達成。

※本町では1t-CO<sub>2</sub>=8,000円で販売

## 【日南町有林J・クレジット販売状況】

平成31年1月末現在

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	累計
販売件数	4件	2件	8件	7件	8件	17件	46件
販売量	119t	20t	70t	223t	231t	615t	1,278t
販売額	1,145千円	194千円	604千円	1,927千円	1,994千円	5,314千円	11,178千円

